

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成22年10～12月期

【主なポイント】

～景況は緩やかながら回復を維持、先行き不透明感強まる～

○「業況DI」(全業種)は、前年同期比で前回調査比+1.3ポイントとなり、緩やかながら2期連続で回復を維持した。今期水準では▲42.8(前回調査比+2.4ポイント)となり、リーマンショック時点の水準(▲44.4)を9四半期ぶりに上回るまでに回復した。ただし、来期見通しでは2期連続マイナス幅が拡大、円高・デフレの長期化や欧米経済の減速等から、先行きへの不透明感が強まっている。

○業況を業種別に見ると、建設業の改善が顕著。都心部を中心としたマンション市場の回復や住宅エコポイント制度の延長・拡充等により民間受注が増加、今期水準、来期見通しともに大幅に改善した。一方、製造業では、長引く円高に伴う輸出・生産減少による受注減少から、今期水準では横ばい、先行き見通しは大幅に悪化した。卸売業も、円高の長期化懸念等から先行き見通しが大幅に落ち込んだ。小売業では、政策効果の剥落や個人消費の伸び悩み等から、今期水準では横ばい、先行き見通しが悪化した。

【調査要領】

○調査期間：平成22年11月10日～15日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,496社

○調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：1,120社(回答率44.9%)

※有効回答企業の業種別構成

・製造業 313社(27.9%)	・建設業 153社(13.7%)	・卸売業 158社(14.1%)
・小売業 142社(12.7%)	・サービス業 354社(31.6%)	

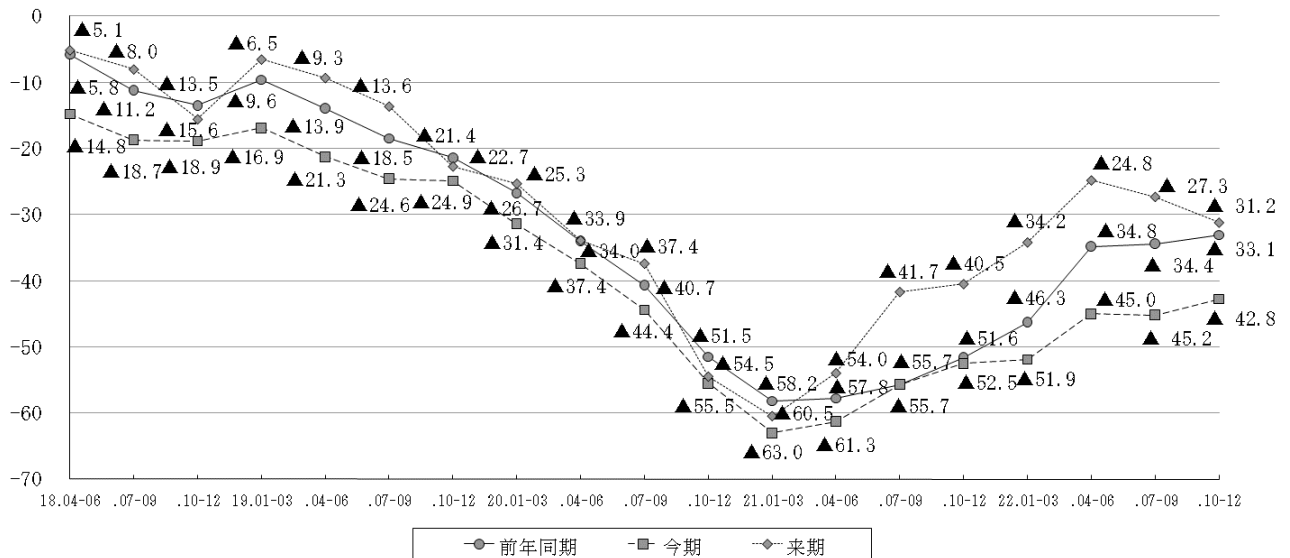
平成22年12月

東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

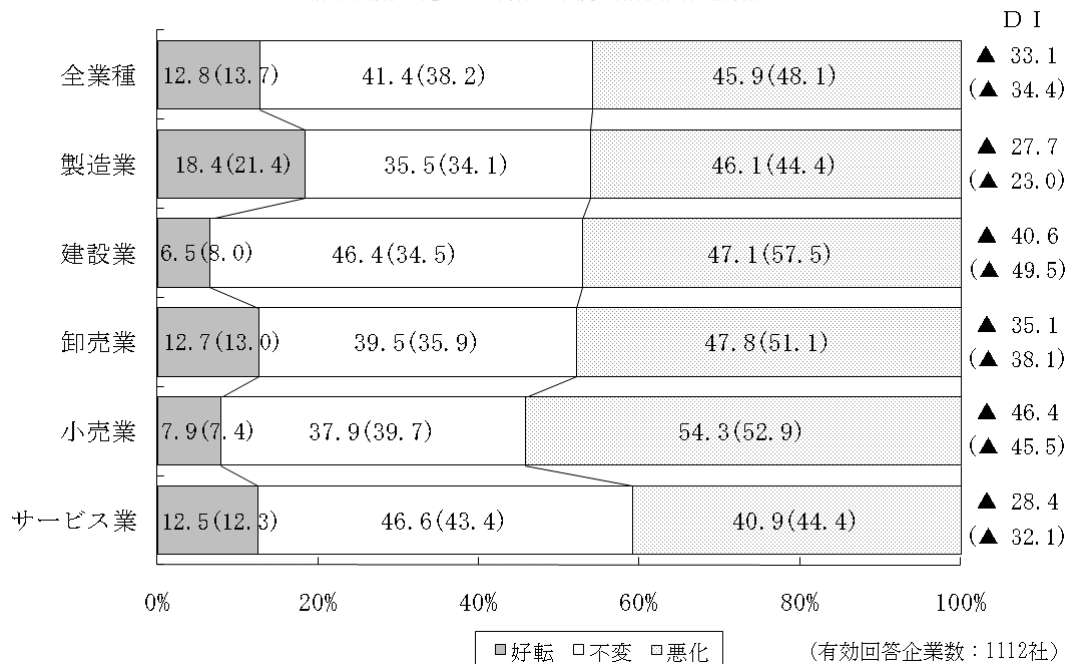
○「業況DI」(全業種)は、前年同期比で▲33.1(前回調査比+1.3ポイント)となり、緩やかながら2期連続でマイナス幅が縮小した。今期水準では、▲42.8(前回調査比+2.4ポイント)となり、リーマンショック時点の水準(▲44.4)を9四半期ぶりに上回った。来期見通しでは、2期連続マイナス幅が拡大、先行きは不透明感が強まっている。業種別では建設業の改善が顕著。

業況DIの推移(全業種)



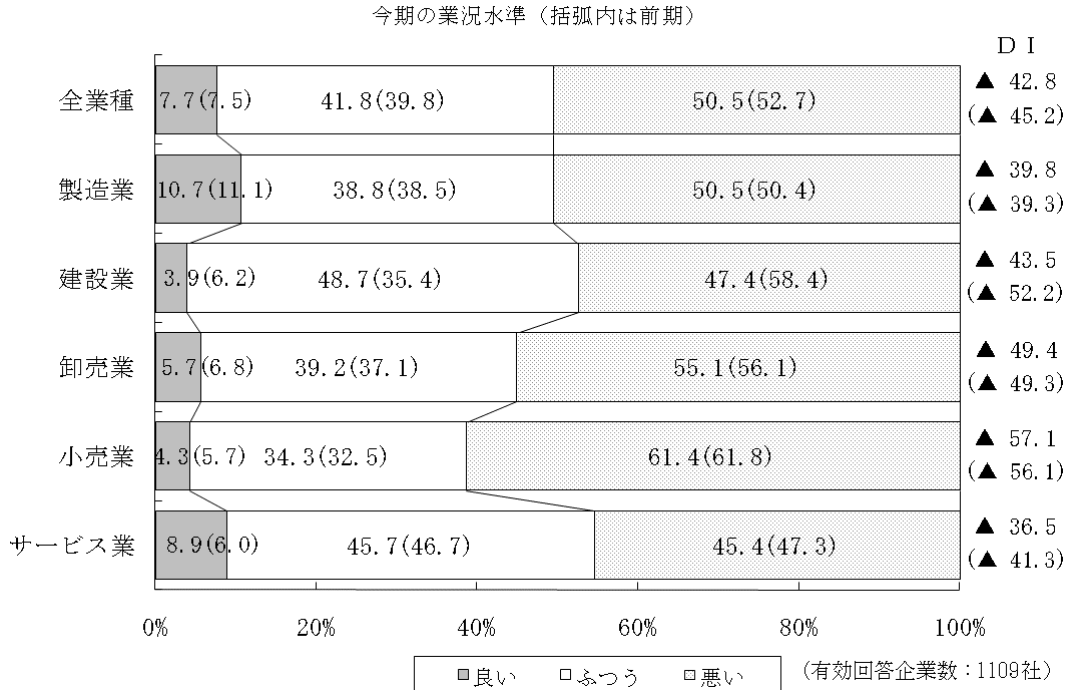
【質問1】前年同期(平成21年10~12月期)と比べた今期(平成22年10~12月期)の業況(自社)はどうですか。

前年同期と比べた今期の業況(括弧内は前期)



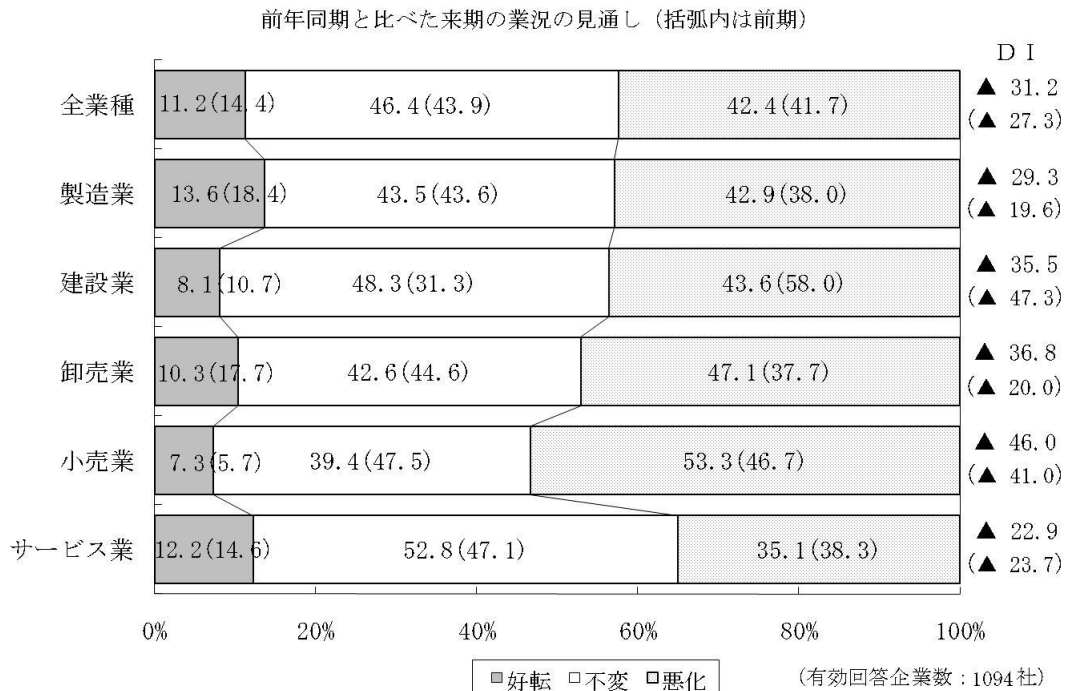
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲33.1(前回調査比+1.3ポイント)となり、緩やかながら2期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・業種別では、建設業が大幅に改善した(▲49.5→▲40.6)ほか、卸売業、サービス業でもマイナス幅が縮小した。製造業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

【質問2】 今期（平成22年10～12月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は▲42.8（前回調査比べ+2.4ポイント）となり、リーマンショック時点（平成20年7～9月期）の水準（▲44.4）を9四半期ぶりに上回った。
- ・業種別では、建設業が大幅に改善した（▲52.2→▲43.5）ほか、サービス業でもマイナス幅が縮小した。製造業、卸売業、小売業はほぼ横ばいとなった。

【質問3】 前年同期（平成22年1～3月期）と比べた来期（平成23年1～3月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

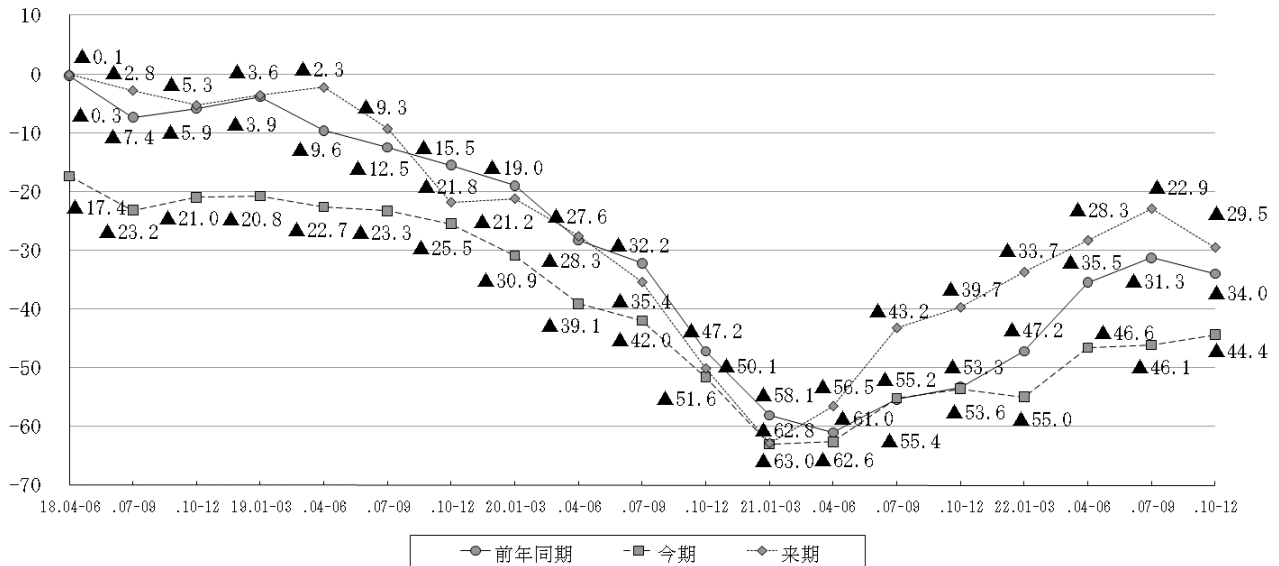


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通しDI」は▲31.2（前回調査比-3.9ポイント）と、2期連続マイナス幅が拡大した。
- ・業種別では、卸売業（▲20.0→▲36.8）、製造業（▲19.6→▲29.3）が大幅に悪化、小売業でも悪化した。サービス業はほぼ横ばい、建設業のみマイナス幅が縮小した。

2. 売上

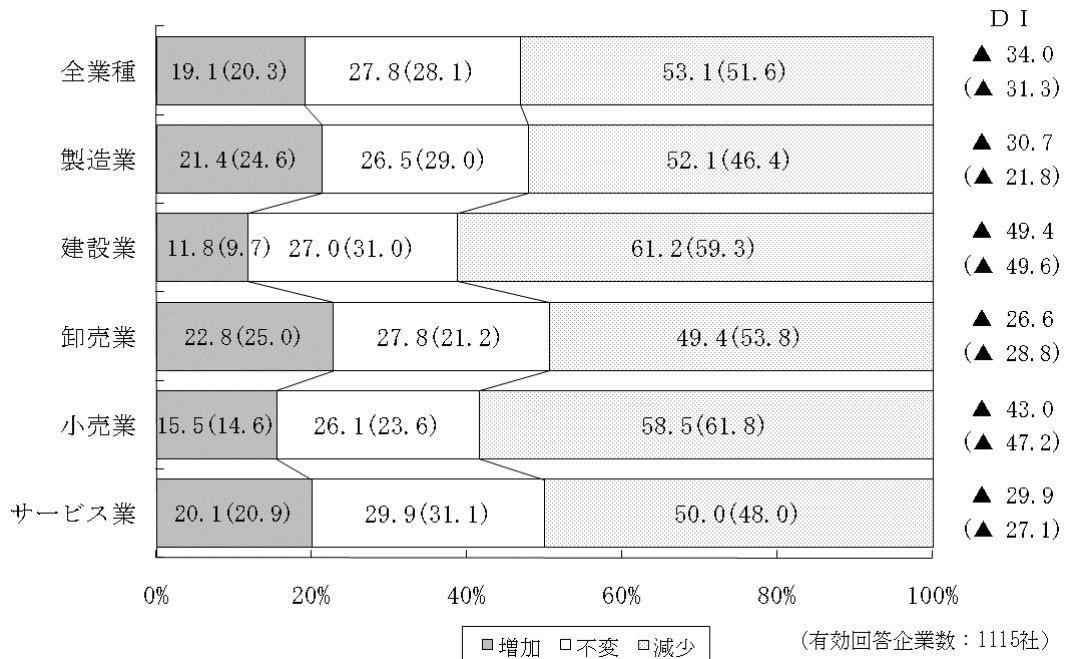
○「売上DI」（全業種）は、前年同期比では悪化、今期水準ではわずかに改善している。来期見通しでは大幅にマイナス幅が拡大した。業種別にみると、製造業が前年同期比で大幅に悪化した。

売上DIの推移（全業種）



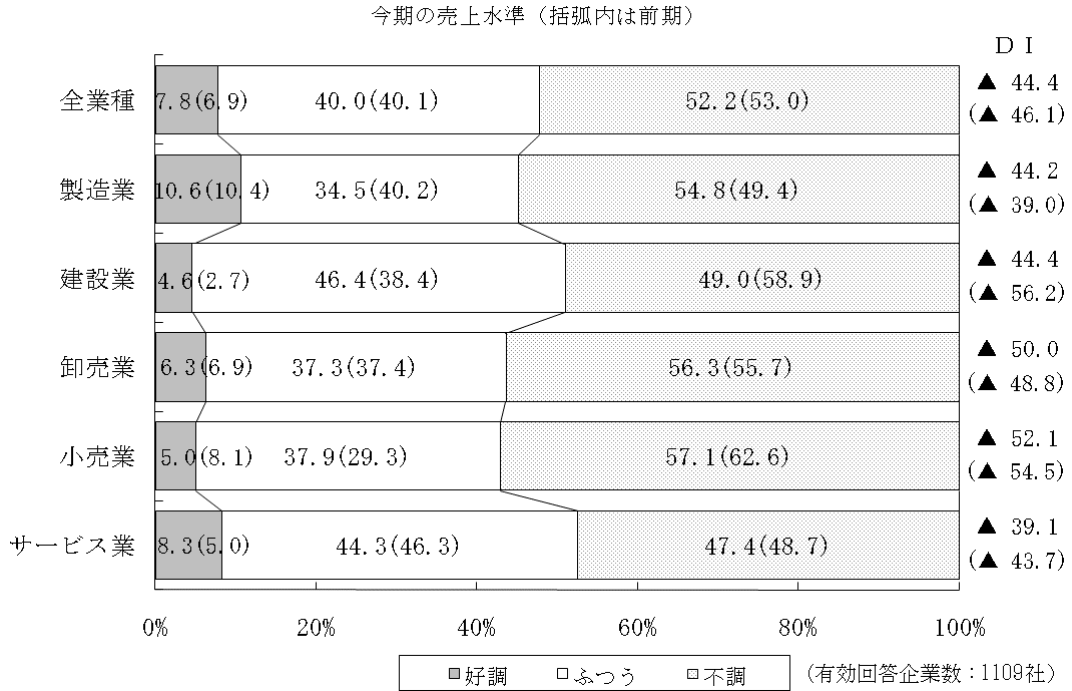
【質問4】前年同期（平成21年10～12月期）と比べた今期（平成22年10～12月期）の売上状況はどうか。

前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前期）



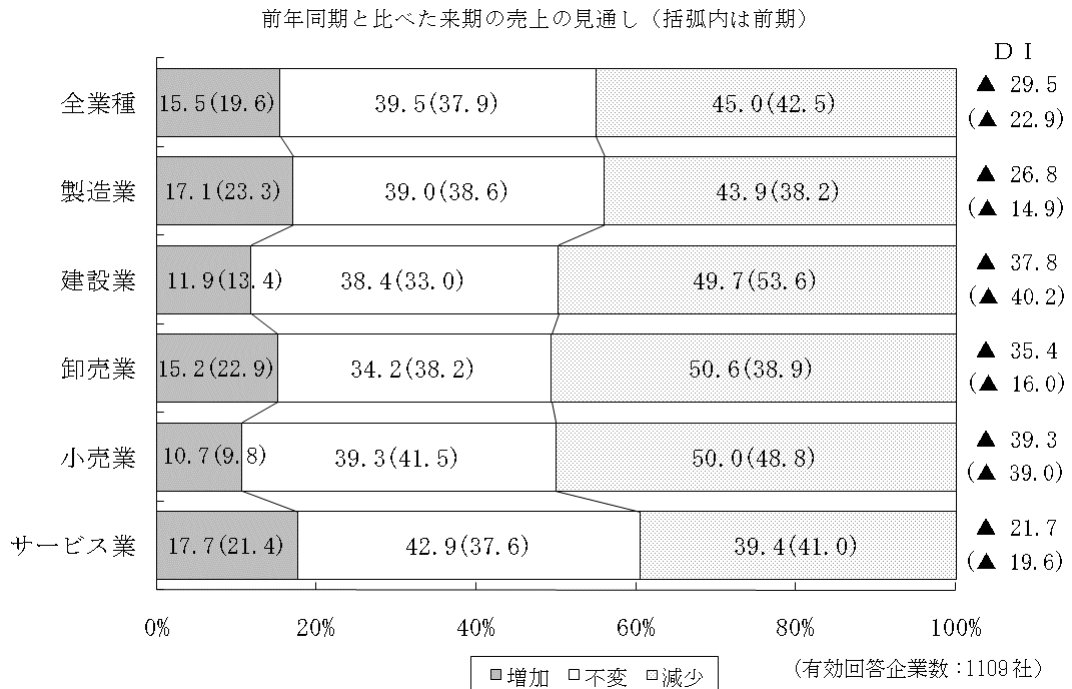
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲34.0（前回調査比-2.7ポイント）となり、5期続いた回復傾向から悪化に転じた。
- ・業種別では、製造業で大幅に悪化（▲21.8→▲30.7）したほか、サービス業でもマイナス幅が拡大した。建設業では横ばい、卸売業と小売業ではマイナス幅が縮小した。

【質問5】 今期（平成22年10～12月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲44.4（前回調査比+1.7ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小した。
- ・業種別では、建設業で大幅に改善（▲56.2→▲44.4）したほか、小売業、サービス業でもマイナス幅が縮小した。製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

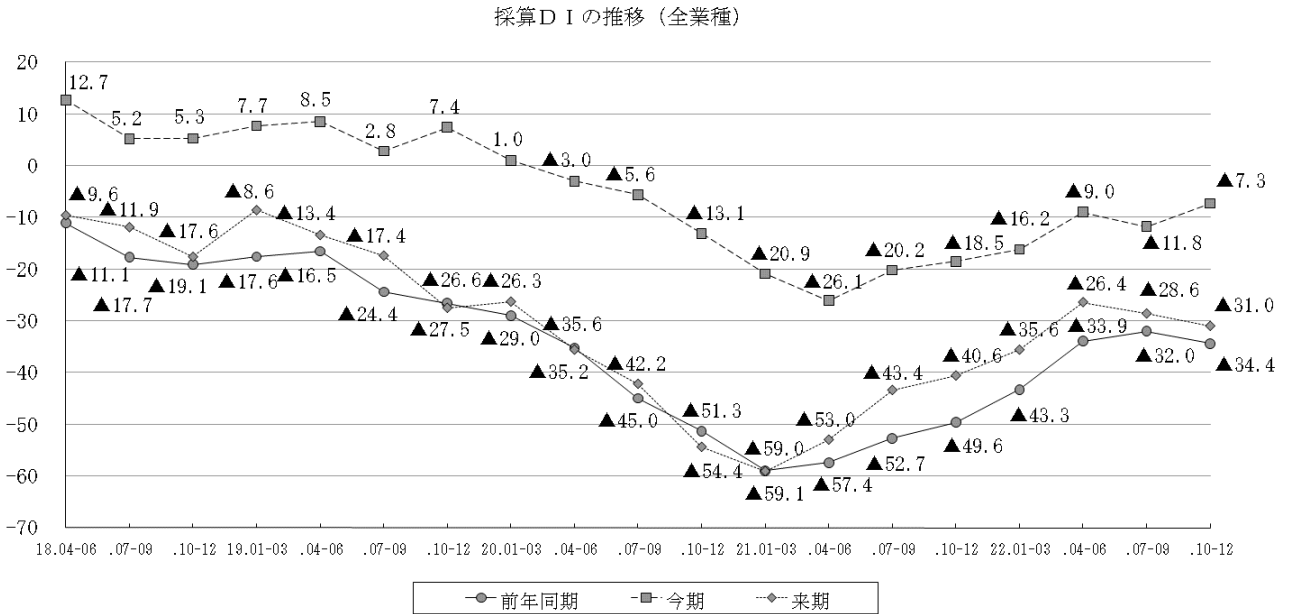
【質問6】 前年同期（平成22年1～3月期）と比べた来期（平成23年1～3月期）の売上の見通しはどうか。



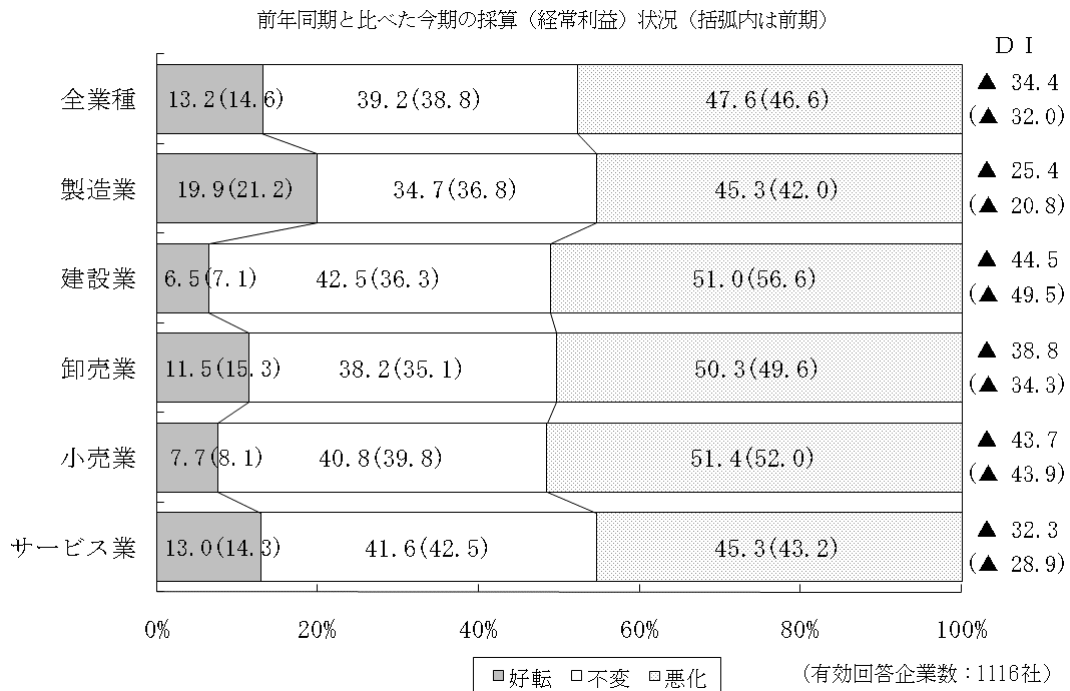
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲29.5（前回調査比-6.6ポイント）となり、6期続いた回復傾向から悪化に転じた。
- ・業種別では、製造業と卸売業で大幅に悪化したほか、サービス業でも悪化した。小売業では横ばい、建設業ではマイナス幅が縮小した。

3. 採算（経常利益）

○「採算DI」（全業種）は、前年同期比でマイナス幅が拡大した。今期水準ではマイナス幅が縮小した。来期見通しでは、2期連続でマイナス幅が拡大した。

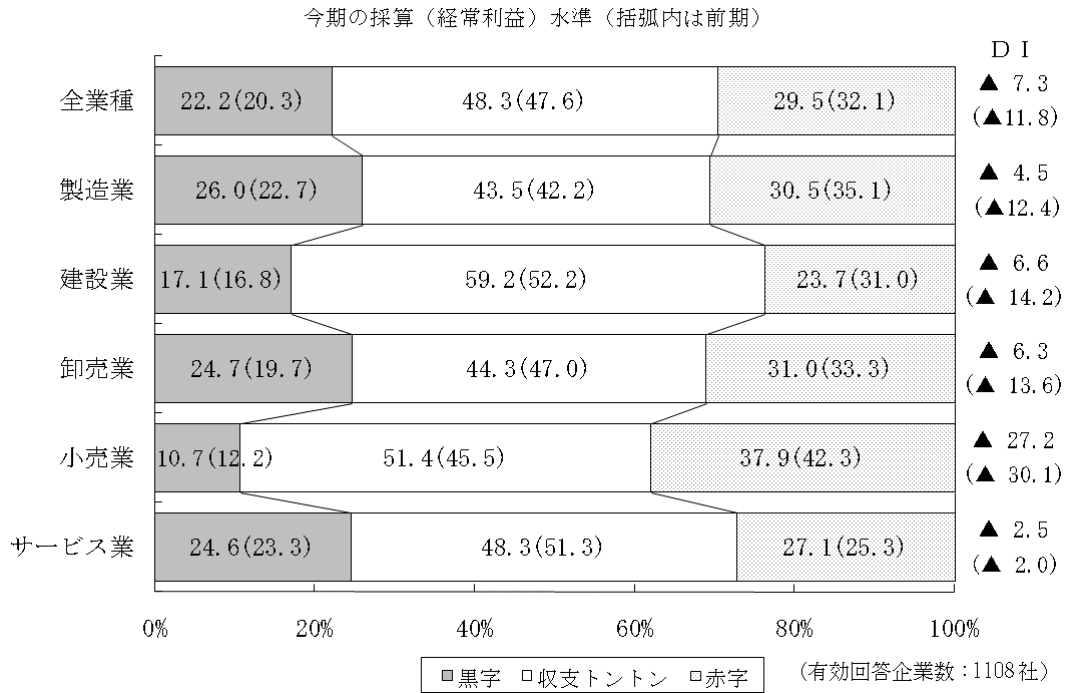


【質問7】前年同期（平成21年10～12月期）と比べた今期（平成22年10～12月期）の採算（経常利益）状況はどうか。



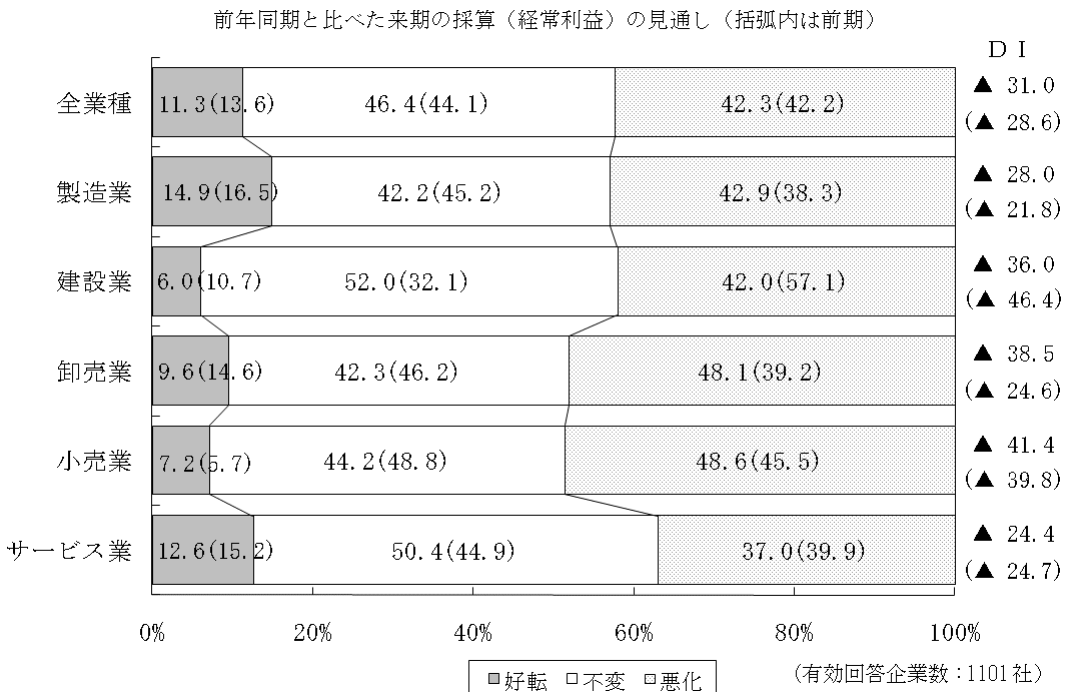
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲34.4（前回調査比-2.4ポイント）と、6期続いた回復傾向から悪化に転じた。
- ・業種別では、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。小売業では横ばい、建設業ではマイナス幅が縮小した。

【質問8】 今期（平成22年10～12月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準 DI」は▲7.3（前回調査比+4.5ポイント）とマイナス幅が縮小し、前期悪化から持ち直した。
- ・業種別では、サービス業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。

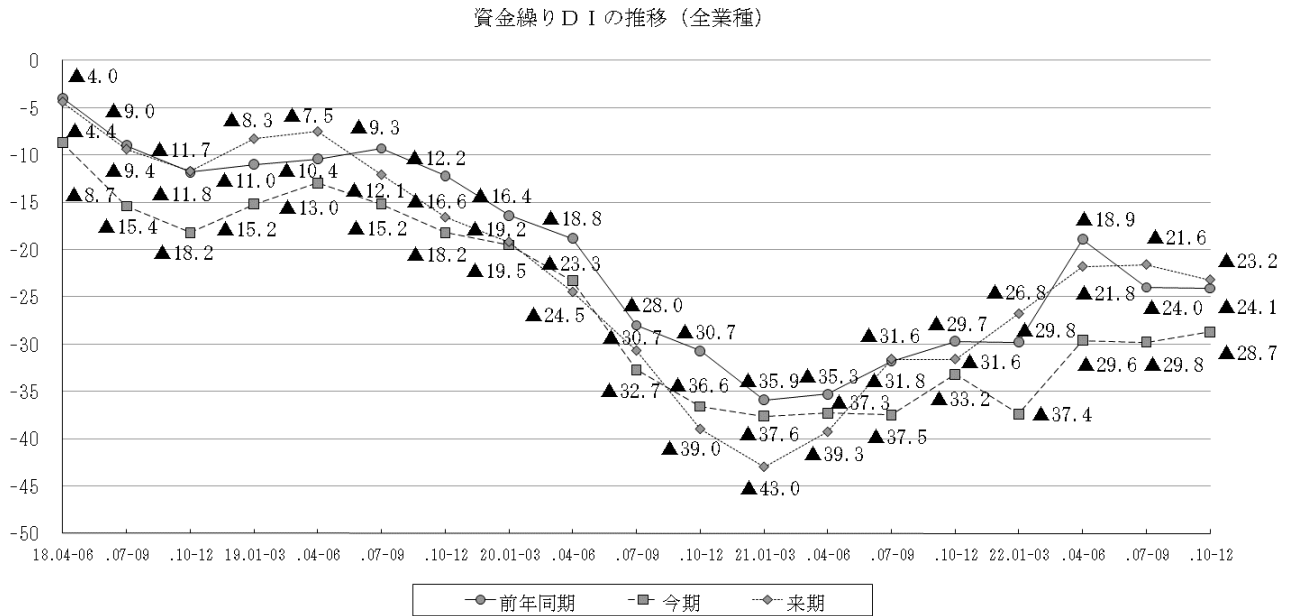
【質問9】 前年同期（平成22年1～3月期）と比べた来期（平成23年1～3月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。



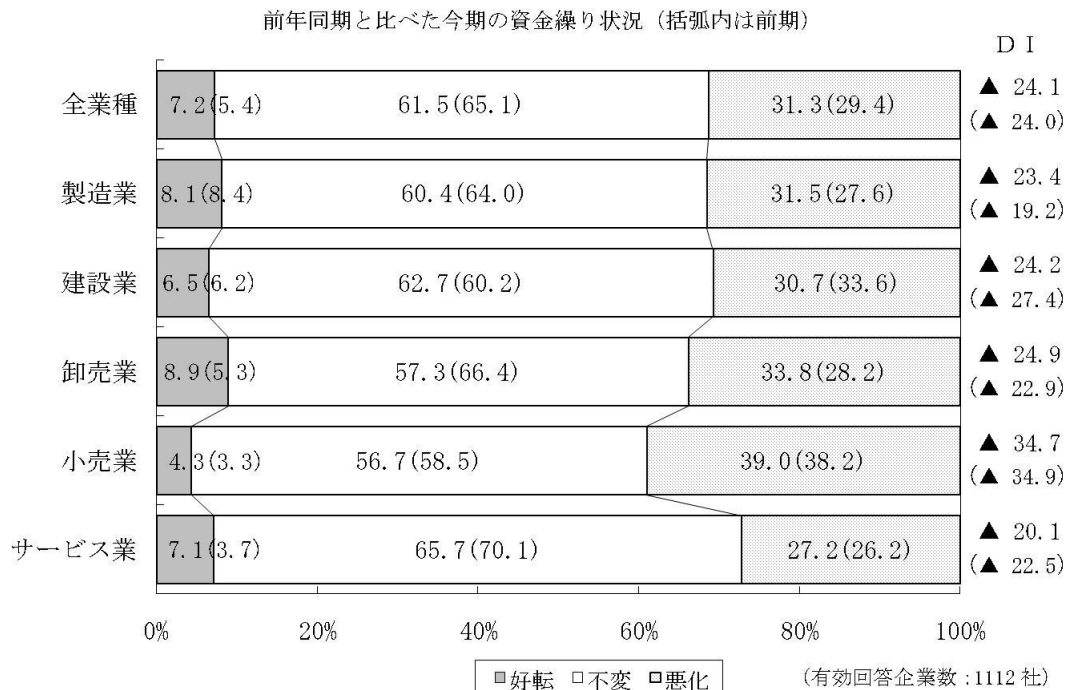
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通し DI」は▲31.0（前回調査比-2.4ポイント）と2期連続マイナス幅が拡大した。
- ・業種別では、製造業、卸売業で大幅に悪化したほか、小売業でもマイナス幅が拡大した。サービス業では横ばい、建設業では大幅に改善した。

4. 資金繰り

○「資金繰りDI」(全業種)は、前年同期比、今期水準ともにほぼ横ばい、来期見通しではわずかに悪化した。

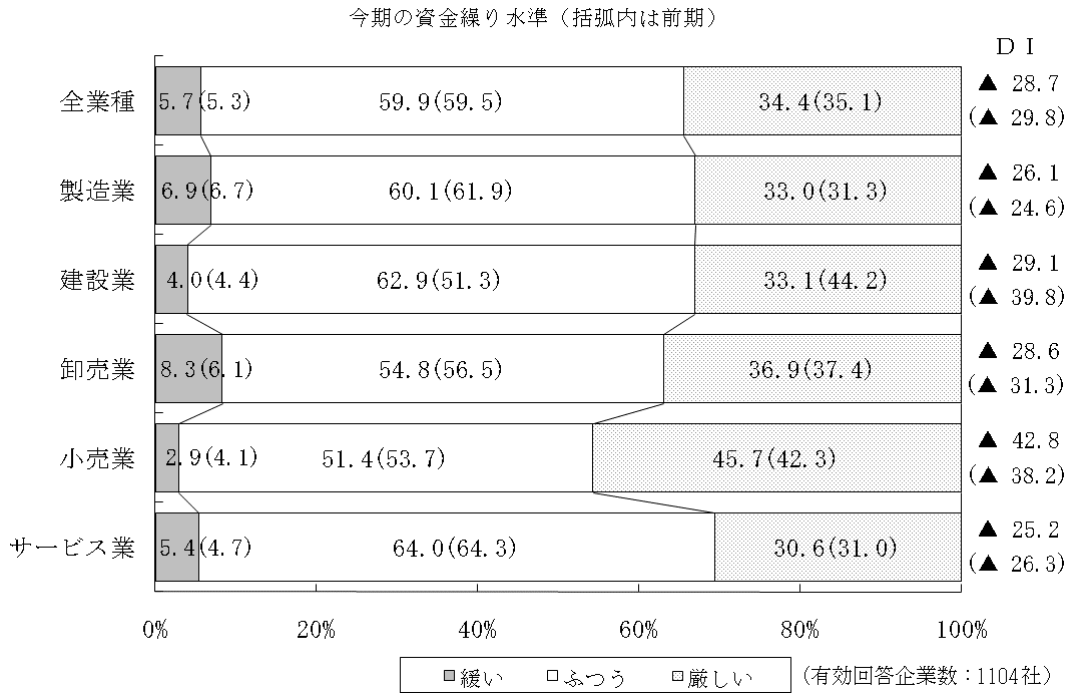


【質問10】前年同期(平成21年10~12月期)と比べた今期(平成22年10~12月期)の資金繰り状況はどうか。



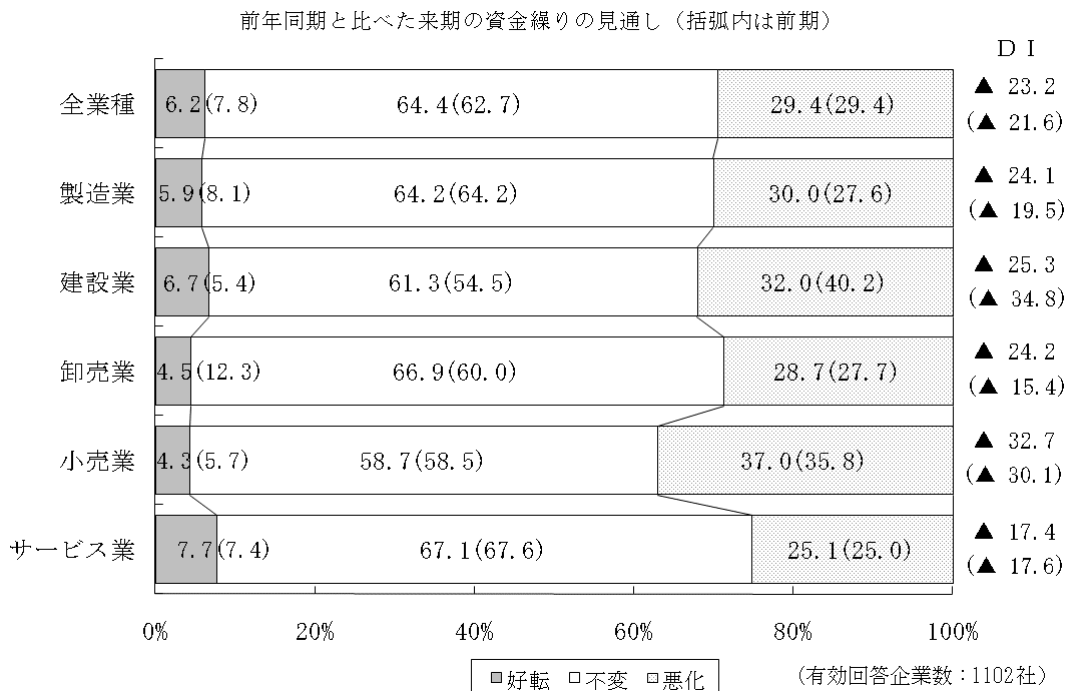
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲24.1(前回調査比-0.1ポイント)と横ばいとなった。
- ・業種別では、建設業、サービス業でマイナス幅が縮小した。小売業では横ばい、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

【質問 1 1】 今期（平成 22 年 10～12 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準DI」は▲28.7（前回調査比+1.1ポイント）と横ばいとなった。
- ・業種別では、建設業、卸売業でマイナス幅が縮小した。サービス業では横ばい、製造業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

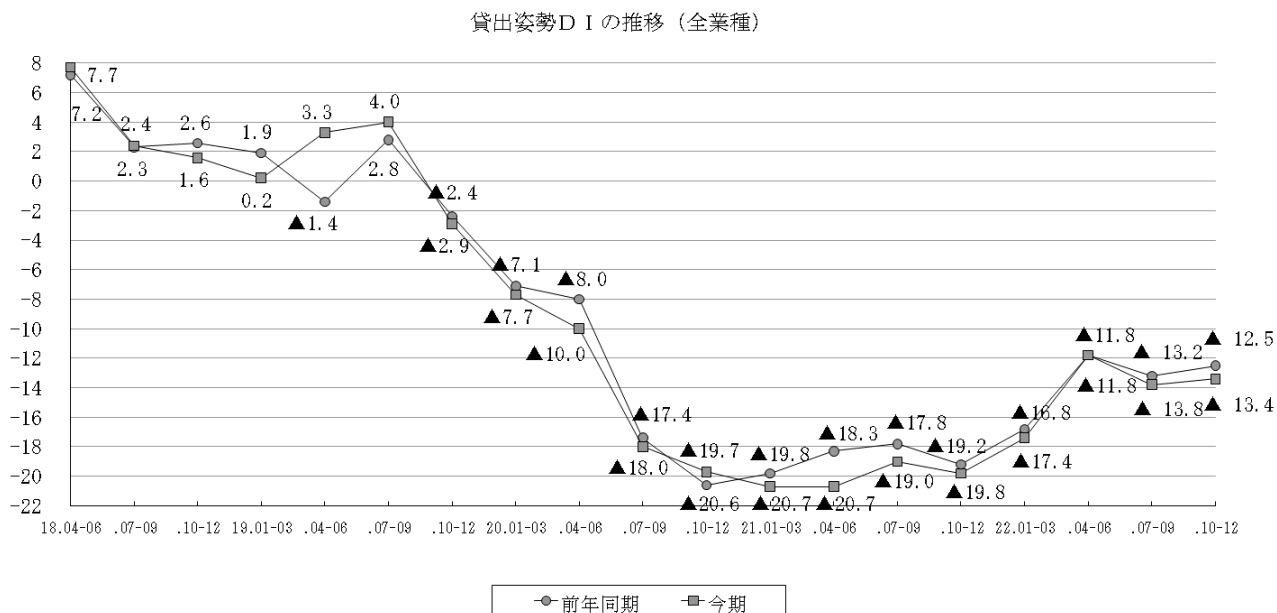
【質問 1 2】 前年同期（平成 22 年 1～3 月期）と比べた来期（平成 23 年 1～3 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



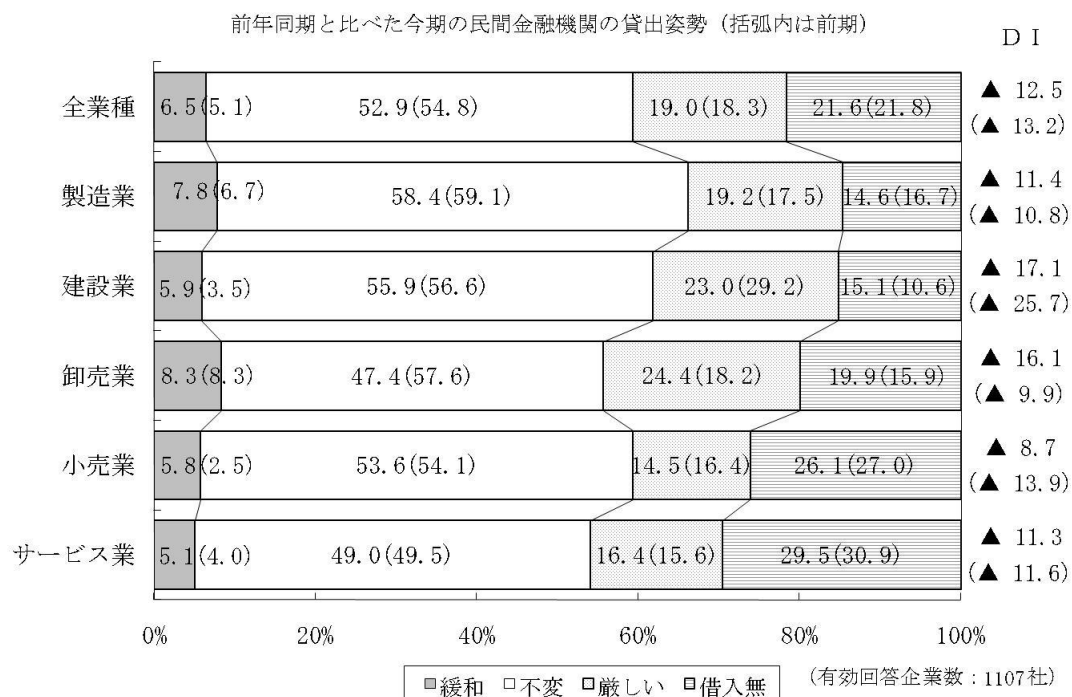
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通しDI」は▲23.2（前回調査比-1.6ポイント）とわずかに悪化した。
- ・業種別では、製造業、卸売業、小売業でマイナス幅が拡大した。サービス業では横ばい、建設業では大幅に改善した。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢 DI」(全業種)は、前年同期比、今期水準ともにほぼ横ばいとなった。

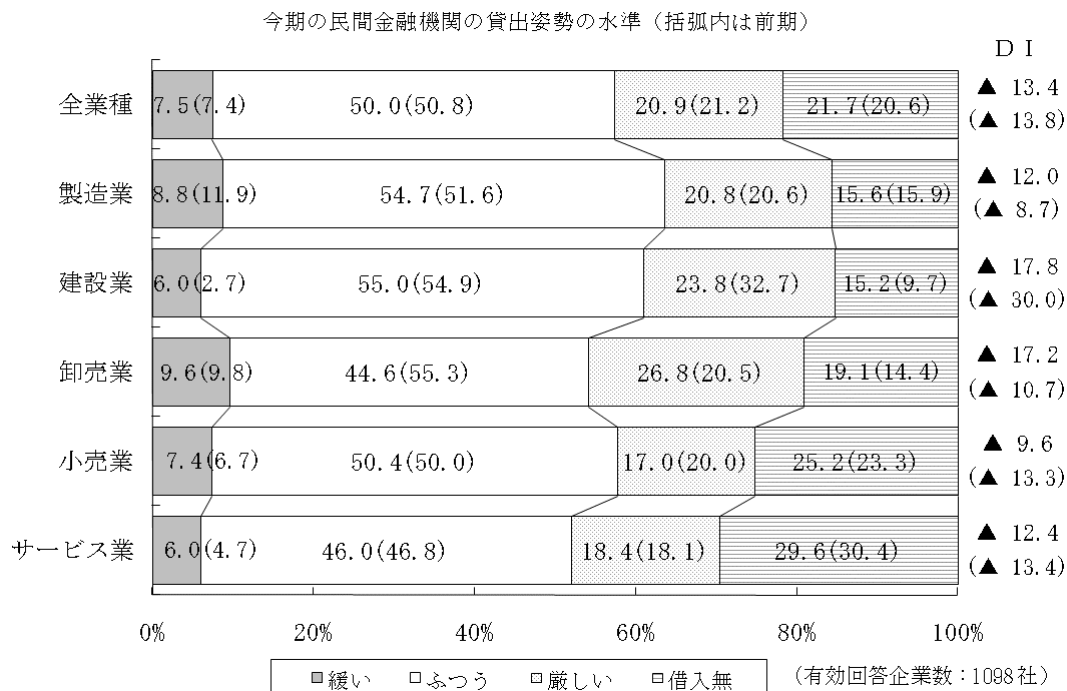


【質問13】前年同期(平成21年10~12月期)と比べて、今期(平成22年10~12月期)の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は▲12.5(前回調査比+0.7ポイント)と横ばいとなった。
- ・業種別では、建設業と小売業でマイナス幅が縮小した。製造業、サービス業ではほぼ横ばい、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

【質問14】 今期（平成22年10～12月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲13.4（前回調査比+0.4ポイント）と横ばいとなった。
- ・業種別では、建設業と小売業ではマイナス幅が縮小した。サービス業はほぼ横ばい、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成22年7月～9月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。